

| 平成31年度目標 | 取組状況 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 各公民館 | |
| (1) 公民館活動への市民参画の促進(開かれた公民館づくり) | |
| <p>① 市民が企画・実施に参画する講座等の主催事業を増やす。</p> <p>② 公民館の運営により多くの住民、各種団体の公民館活動への参画を促進するよう運営委員会の活性化をはかる。</p> <p>③ 職員や、公民館で力をつけた市民で、各公民館に来られない方を対象に出張講座等を行う。</p> | <p>・企画委員の募集や、職員主導からの脱却の取り組みを事業計画書の目標に掲げる。</p> <p>・高島公民館の川ガキ講座を大学生の企画に切り替えるなど若者主体に新たな取組が進む。</p> <p>・各運営委員会で、公民館基本方針についての周知する。富山、大元、一宮、福浜公民館などの運営委員会では振興室職員も参加し、方針をどう活かすか運営委員会で話し合いを行った。</p> <p>・建部町公民館に運営委員会が設置され、すべての公民館に運営委員会が設置された。</p> <p>・地域担当職員を中心に、高齢者のサロン活動や、地域防災の講座の出前講座が行われている。</p> |
| (2) 地域課題の把握と事業企画への反映 | |
| <p>① 地域ワークショップや、市民相談、関係行きや機関へのヒアリングなどの結果を踏まえた事業の立案を行う。市政の懸案であり地域共通の課題である8つの「重点分野」(後述)に沿って学習機会を提供し、他の分野や課題とつながるような事業に取組む。その中でも、「地域づくり」「共生」「防災」について事業の充実をはかる。</p> | <p>・今年度の運営方針では、特に、基本方針の重点分野である「地域防災」「地域共生」及び「若者の地域参加」を特出したことで、その3分野を各公民館の重点目標と位置づけた取組が進められた。</p> |
| ■ 地域づくり—地域資源の掘り起し、地域課題の把握による持続可能な地域の姿の共有— | |
| <p>地域資源の掘り起しや継承、まちづくりへの活用につながる取組を「地元学」の発想を活かして行う。また、地域資源や地域課題の把握などをもとに、持続可能な地域の姿(地域の未来ビジョン)を住民自らが考え、実現するための取組を支援する。</p> | <p>・地域づくりワークショップを各館で継続的に実施した。</p> <p>＜新たな取組例＞</p> <p>・御津公民館と就実大学人文科学部間で連携協定を結び、公民館の山城や獅子舞、郷土資料館の資料の掘り起しと地域での活用をめざす取組</p> |
| ■ 共生 — 共生のまちづくりの推進 — | |
| <p>・地域共生社会推進計画の具体化に向け、地域に応じた支え合いのしくみをつくるために市民、様々な専門家、関係機関等がともに、地域のニーズを把握、情報を共有し、ボランティア養成講座等学びの場づくり、関係づくりを行う。</p> <p>・保健福祉局と連携し、地域支え合いサポーター養成講座を各ブロックごとに行い、学習と活動をつなげる。</p> <p>・発達障害に関する講座や事業を行う各館と関係団体が連携した取組を進める。</p> <p>・地域でくらす外国人の課題を把握し、公民館の役割を検討する。</p> | <p>・身近な公民館で実施した方が、講座後の実践グループがしやすいことから、保健福祉局と連携し、地域支え合いサポーター養成講座を各ブロック1館計6館で実施した。</p> <p>・岡西や岡輝の支え合いの地域づくりの取組が、他地域(富山、旭童など)へと波及している。</p> <p>・発達障害に関する講座や相談し合うグループが増加した。今年度、公民館で活動するグループ同士が定期的に情報交換するネットワークができ、6ブロックの持ち回りで定例会と学習会を実施した。</p> <p>・国際友好サロン関係者から外国人向け日本語教室の地域での展開について検討依頼があり、研修でとりあげ、光南台地区でニーズの把握を行った。</p> <p>・西大寺公民館と学芸館高校、町内会等で多文化共生WSを実施した。</p> |
| ■ 防災・安全安心 — 地域の防災力を高める — | |
| <p>・地域の防災・減災力を高めるための学びの場をつくり、地域の防災組織の学習の支援、防災士資格を持つ公民館職員と地域の防災士等のボランティアとの連携、自主防災組織との連携などを通じて、地域防災の活動の支援、促進を行う。</p> | <p>・すべての公民館で防災に関する講座を行い、自主防災組織の立ち上げのための学習会や防災訓練などの支援活動が行われた。</p> <p>・男女共同参画の事業と連動した「女性と防災」という視点での講座(一宮、興除など)や、「だれもおきざりにしない避難所」をテーマに女性、子ども、障害者などの視点で考える防災訓練など新たな取組(大元学区など)が進められた。</p> <p>・学校と連携した取組(瀬崎、一宮など)、大学生(岡山バトンなど)と子ども向け講座の実施(吉備、操山、富山など)を実施した。</p> |
| ■ 環境 — 環境に関する意識の向上と活動の促進 — | |
| <p>・身近な自然から地球規模のエネルギー問題まで多彩な学習の機会を提供する。</p> <p>・環境事業課と連携して、食品ロス削減の講座や事業の充実を図る。</p> | <p>・ごみゼロ月間事業で環境講座を全館実施。</p> <p>・環境事業課と連携し、食品ロス削減講座を6館で実施した。</p> <p>・地球温暖化問題の適応策を地域で考える「地球温暖化の地元学」の提案(山陽学園大学白井教授)を活用し、関心のある職員と環境講座を企画する市民で学習会を実施した。</p> |
| ■ 健康 — 健康づくりへの支援 — | |
| <p>・健康市民おかやま21の関係機関と連携した取組を進め、事業生活習慣病予防、心の健康、食事、飲酒・喫煙、介護予防など幅広い観点から健康をとらえ、健康学習の機会を提供する。また、あらゆる世代を対象に、将来を見据えた健康づくりへの意識付けや運動習慣の定着を図る。</p> <p>(新たな健康ポイント事業との連携検討も含む。)</p> | <p>・健康市民おかやま21と連携した取組は継続的に行われ、講座数も参加者も安定している。</p> <p>・企業を中心とした新たな健康ポイント事業に関連して、健康ポイント参加事業の(株)ダイヤ工業と講座を共同実施した。</p> |
| ■ 男女共同参画 — 男女共同参画の推進 — | |
| <p>・性別に関係なく、一人ひとりの人権が尊重され、互いの生き方を認め合うとともに、多様な考え方が生かされる社会を実現する。女性が輝くまちづくり推進課のさんかくウィーク、さんかくカレッジの事業を活用する。</p> | <p>・さんかくウィーク事業で全館実施。</p> <p>・前述「女性と防災」の講座数が増加した。(H30:興除、富山→R1:興除、富山、東、一宮など)</p> |
| ■ 子育て — 子育て・家庭教育と青少年健全育成の支援 — | |
| <p>・地域で子どもが育つための切れ目ない支援を進めるため、地域の中での「子ども観」の共有を図り、安心して子育てができる環境を整える。家庭教育にも目を向け、親同士の学びあいを促進するため、気軽な相談場所づくりや居場所づくりに努める。また、子どもが主体となるような様々な体験活動の場を設け、異年齢の子ども同士の交流を図る。</p> | <p>・子育てサロン、夏休みの子ども向け講座(フリー塾など)は、継続的に実施された。</p> <p>・学習支援のニーズがあり、「寺子屋高松」以外に、地域ボランティアによる学習支援の取組が操山、東山、岡輝などで始まった。</p> <p>・地域の団体を中心に行われる子ども(年齢不問もあり)の居場所事業が公民館を会場に行われている。(西大寺、岡輝、操山、東山など)</p> <p>・発達障害のある子どもに関わる講座・クラブを行う公民館が増加した。(H30:14館→R1:18館)</p> |
| ■ 長寿社会 — 高齢者の仲間づくりと学習の機会の提供 — | |
| <p>・高齢者一人ひとりの生き方や多様性を尊重し、高齢者自らが自主的・主体的に学びや活動に取組んでいけるよう支援する。高齢者の生きがいや仲間づくりを進める一方、経験豊富な地域人材として、地域活動や学校支援への参加を支援する。</p> | <p>・高齢者大学等、高齢者講座を継続的に実施した。</p> <p>・クラブ講座生が、サロンなど地域活動への参加、夏休みフリー塾の参加する機会を増やす取組を行った。</p> |
| <p>② 実施にあたっては、各公民館の地域特性をふまえて重点を絞り込み、目標と重点取組を設定し、設定した目標に特に注力して公民館全体で取組む。</p> | <p>・「基本方針推進研修」を行い、各公民館ごとに、「基本方針」に基づく重点取組を決めて取組、中間見直し、年度末の達成状況をお互いに確認した。</p> |

| | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (3) 子ども若者の参画・次世代への地域活動継承に向けた取組 | |
| ① 中学校、高校の生徒が、地域や社会課題にふれ、主体的に参画する事業や、参画の機会を増やす。 | ・瀬崎公民館「チーム瀬」、建部町公民館「たけべ部」の取組を参考に新たな取組が始まった。(藤田公民館と藤田中など) ・中学校、高校へ公民館活動へのボランティア参加を積極的に呼びかけ、参加してくれる中学校、高校は増加傾向である。(新たに中山中など) |
| ② 大学等の行う地域貢献・地域問題を対象にした実習や、教育・地域づくり等の専門分野の研究と連動した取り組みを進める。 | ・各大学からの社会教育実習、ESD学生インターンシップ、社会調査などは、積極的に受入、大学生との意見交換や提案を受け入れた講座の実施を行った。 ・清心女子大学、就実大学の授業に公民館職員が参加した。 ・御津公民館と就実大学人文科学部の間で連携協定(前述) |
| ③ 地域協働学校(コミュニティスクール)や地域学校協働活動の取組など、学校と地域社会を結び将来の社会の担い手として子どもたちを育てていく取組に参画する。 | ・地域協働学校や地域学校協働活動に公民館が参加できていない地区があり、公民館の参加をお願いした。(高島小などで新たに参加) ・再任用館長の特命事項としてワーキングチームにより、連携のあり方を検討。 |
| (4) 公民館活動の魅力発信 | |
| ① 「公民館だより」の魅力を高める。(講座案内で終わらない地域情報の発信。) | ・広報のワーキングチームで現状を整理した。 |
| ② 「LIFEおかやま」「ESDなび」等ホームページ、フェイスブックでの情報発信を増やす。案内だけでなく、事業報告や様々な活動の発信や情報交換を行う。 | ・ホームページ、SNSへの記事掲載を常時行っている。 |
| <公民館振興室> | |
| (5) 基本方針推進に向けた事業推進体制の見直し | |
| ① 指導班の体制整備 | |
| ・ブロックごとの担当による支援が行えるよう、業務体制の確立をはかる。 | ・現在の6ブロックに、それぞれ担当を置いた。 |
| ・基本方針を現状に併せて、新たな取組が進められるよう事業の棚卸しを行う。 | ・公民館基本方針研修を実施。 |
| ② 事務事業の改善 | |
| ・業務効率の改善に向け、定型事務の統一、事務マニュアルの見直しをはかる。 | ・事務マニュアルの一部を見直したが、全体の整理はできなかった。 |
| ③ 研修 | |
| ・基本方針を実現するため、各公民館で立てた目標の進行管理と自己評価を行う研修を行う。 | ・館長会、社会教育主事会、事務担当者会、地域担当職員会、新任職員研修で「基本方針」の考え方についての研修を行った。 ・「基本方針推進研修」を行い、全館で目標設定と進行管理、自己評価を行った。 |
| ・「開かれた公民館」への意識を高め、そのためのコーディネーター技能を高める研修を行う。 | ・ESD推進協議会のESDコーディネーター研修の一部を公民館職員が行い、研修へも2名参加。 ・単独では未実施 |
| ・「地域防災」等重点分野に関する研修を実施する。 | ・館長会、社会教育主事会、事務担当者会、地域担当職員会の間を通じて、「防災」「支え合いの地域づくり」「多文化共生」「地域学校協働活動」などの研修を実施した。 |
| ・テーマに応じて、市民や関係課、団体にも開かれた研修を企画する。 | ・未実施 |
| ④ 施設利用の促進 | |
| ・公民館の施設の利用を促進し、分館の利用計画の策定を促す。 | ・未実施 |
| (6) 公民館間の交流や連携の取組 | |
| ・公民館が連携、またブロックで分担して事業について検討し、できるところから実施する。 | ・社会教育主事会をブロックごとに交代で回す、行事をブロックに割りてるなど実施した。 ・足守公民館が大元公民館で、農業地域おこしの講座を実施。 |
| ・公民館大会や他組織と連携した交流機会により、公民館活動を行う職員や市民の直接的な交流機会を設ける。 | ・SDGsフォーラムの一部を公民館職員が担うことで、公民館を利用しない市民もふくめた交流機会を作った。 |
| (7) 基本方針に沿った先導的取組の企画 | |
| ① 大学、NPO、企業等との情報交換の場 | |
| ・地域づくりや教育などに関心を持って活動しているNPOや企業の若者と地域コミュニティの活動とがつながり、新たな取組を生み出す機会をつくる。 | ・若者ワーキングチームを中心に、社会教育実習やESD学生インターンシップを受け入れた大学研究室との連携機会について探った。 ・九州大学大学院の社会教育調査を受け入れた。 ・健康ポイント事業で、企業と社会貢献について意見交換。一部実施 ・NPO法人岡山県自閉症協会と新規事業を試行した。 |
| ② 各公民館の共通課題に沿ったワーキングの実施 | |
| ・基本方針の重点分野についての公民館全体の具体的な目標の設定や、基本方針推進のしくみづくりにむけて「地域づくり」「共生のまちづくり」「地域防災」「若者の参画」「広報戦略(ICT含む)」「研修・評価」のワーキングチームを設置する。ワーキングの実施に当たっては関係課・団体の協力関係づくりも意識して取組む。 | ・社会教育主事を中心に職員で、「地域づくり」「地域防災」「地域共生」「若者」「広報」「研修・評価」「公民館大会」の7つのワーキングチームを8月に設置した。 ・それぞれのチームで、関係機関や団体との学習会の実施や、関係づくり、優先する重点取組の整理を行っている。 |
| ③ 公民館の取組の発信 | |
| ・各公民館の実践が広く市民に伝わるよう整理し、マスコミへの計画的な情報発信を行う。 | ・全国、県公民館連合会や文科省事業の発表機会に先導的な取組を推薦し、職員に発信してもらった。(建部町、光南台、岡輝、藤田、上南など) ・各公民館がマスコミに発信を行っている。 ・SDGsフォーラム用にSDGsと公民館活動をつなげて紹介するパネルを作成し、岡山ESDなびのページに登録した。 |
| (8) 関係組織との連携協働 | |
| ① 地域情報の共有 | |
| ・共生のまちづくり、生涯学習、地域づくりなどの取組の促進につながる地域の基礎情報の共有(地域カルテ)を保健福祉局、市民協働局などとともに進める。 | ・保健福祉局、市民協働局、公民館職員で、福祉とまちづくりをつなぐ地域づくりワーキンググループができ、関心のある社会福祉法人やNPO、地域団体、公民館と協働取組のための情報交換会を2回実施した。 ・南区役所と南区公民館で定期的な情報交換の場が設けられており、特に、地域の歴史資源の共有、防災に関して建設的な意見交換が行われている。 |
| ② 災害時の対応の整理 | |
| ・関係課・関係機関と協議し、避難所になった場合の備えや、公民館の施設を活かした被災者支援などの役割を整理する。 | ・公民館が一次避難所の一つとして位置づけられたことから、避難所開設時の運用についてのマニュアルが作成され、担当職員との打ち合わせが行われた。 |
| ③ ESD、SDGs等の取組との連動 | |
| ・SDGsモデル都市に関する保健福祉の取組や、ESD推進協議会のプロジェクト、岡山芸術交流など市の取組と公民館活動の調整、お互いに効果が上がる取組を進める。 | ・市民協働局とともに、SDGsフォーラムを実施した。 ・保健福祉局と、支え合いの地域づくりについて継続して取り組んだ。 |
| (9) 評価指標の設定 | |
| ・ワーキンググループを設置し、各重点分野において各年の取組でどのような変容があったかが具体的に伝えられるわかりやすい目標を設定するとともに、長期的な取組を評価する社会的インパクト評価の手法を研究する。 ・評価指標は、事業の改善、活動の発展の有無を示すために、数値目標と質的評価を組み合わせてつづ、効率的な方法を検討する。 | ・社会教育主事の中にワーキンググループを設置して2回会議を行う。ノートルダム清心女子大学・二階堂先生と振興室で意見交換を実施。 |
| ・運営委員会や第三者評価で利用可能な評価シートの検討を行う。 | ・基本方針推進研修で、各公民館の重点取組とその目標が達成されている状態を示す指標が何かを、各館で考えてもらい、自己評価と職員間の相互評価を行った。 |